



◆5月のCP市場動向

《CP市場》

5月末のCP市場残高は26兆2,182億円で前月比8,682億円増加した。前年同月比では1兆9,883億円の増加となった。発行市場は、円安進行や原材料・エネルギー高等を背景に、幅広い業種で活発な発行が見られた。業種別残高では、一般事業法人が11兆729億円（前月比+6,654億円）、その他金融が10兆8,168億円（同+2,548億円）、金融機関が2兆7,164億円（同+1,021億円）とそれぞれ増加した。一方、ABCPは1兆6,121億円（前月比△1,541億円）と減少した。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出合いが中心となった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄（a-1+格）0.000%割れ 一般事業法人（a-1格）0.000%割れ
 その他金融銘柄（a-1格）0.000%割れ

【業態別残高内訳】

（単位：億円）

業 態	5月末残高	4月末残高	増 減
一般事業法人	110,729	104,075	6,654
その他金融	108,168	105,620	2,548
金融機関	27,164	26,143	1,021
政府系金融	0	0	0
銀行等	7,109	6,819	290
証券	20,055	19,324	731
ABCP	16,121	17,662	-1,541
計	262,182	253,500	8,682

（注：買入消却分含む）

【格付け別の発行レート】

格 付	1ヵ月		2ヵ月		3ヵ月	
a-1+（一般事業法人）	——	～ 0.000%	——	～ 0.000%	-0.003%	～ 0.000%
a-1（一般事業法人）	-0.004%	～ 0.009%	-0.003%	～ 0.000%	-0.004%	～ 0.015%
a-1+（リース銘柄）	-0.001%	～ 0.000%	——	～ 0.000%	——	～ ——
a-1（リース銘柄）	——	～ ——	-0.002%	～ 0.000%	-0.001%	～ 0.013%
a-2	0.035%	～ 0.150%	0.008%	～ 0.010%	0.000%	～ 0.160%

「CP 等買入れオペ」

CP 等買入れオペは、当初予定通り 2 回の合計 8,000 億円で実施された。12 日オファースの結果は、応札額 8,178 億円、按分レート Δ 0.003% (平均レート Δ 0.002%)、26 日オファースは、応札額 7,184 億円、按分レート Δ 0.002% (同 0.003%) と、按分レートは各回とも前回比で上昇した。平均レートがプラスとなるのは 2020 年 4 月以来であった。なお、5 月末時点のオペ残高は 2 兆 9,753 億円となっている。

【CP 等買入れオペ実績】

(単位：億円)

実施日	実行日	オファー金額	応札額	落札額	按分・全取	平均落札	按分比率
5月12日	5月17日	4,000	8,178	3,979	-0.003%	-0.002%	13.3%
5月26日	5月31日	4,000	7,184	3,982	-0.002%	0.003%	32.3%

「ABCP」

ABCPは、1兆6,121億円と前月比1,541億円の減少、前年同月比では1,364億円の増加であった。

「短期社債登録状況」

証券保管振替機構によると、5月末時点における発行登録企業数は1社減の544社であった。登録抹消：ウニクレディット銀行

「CP現先市場」

現先 (S/N) レートは運用ニーズ変わらず、 Δ 0.05%~0%近辺での出会いとなった。

◆6月のCP市場動向

6月のCP発行市場は、資源高や円安の進行等を背景とした資金確保の動きから、積極的な発行が見込まれる。一方で、投資家のロングターム物に対する購入意欲が減退しており、発行期間の短期化が進むと思われる。また、一般事業法人の四半期末決算の残高調整要因から、月末にかけては発行残高の減少が見込まれる。発行レートは、浅いマイナスから0%近辺での出会いが中心となることを予想する。

「CP 等買入れオペ」

CP等買入れオペは、9日と27日でそれぞれ4,000億円、合計8,000億円のオファー予定となっている。CP市場残高は5月末に26兆円台に乗せ、6月も高水準にて推移する中、ディーラーによるオペ売却ニーズも底堅い。足切りレートは前回比横ばい圏内を予想する。

「CP 現先市場」

CP 現先レートは、 Δ 0.05%~0%近辺での出会いを予想する。

* 参考資料 (出所：証券保管振替機構)

【5月末発行残高 上位 10 社】

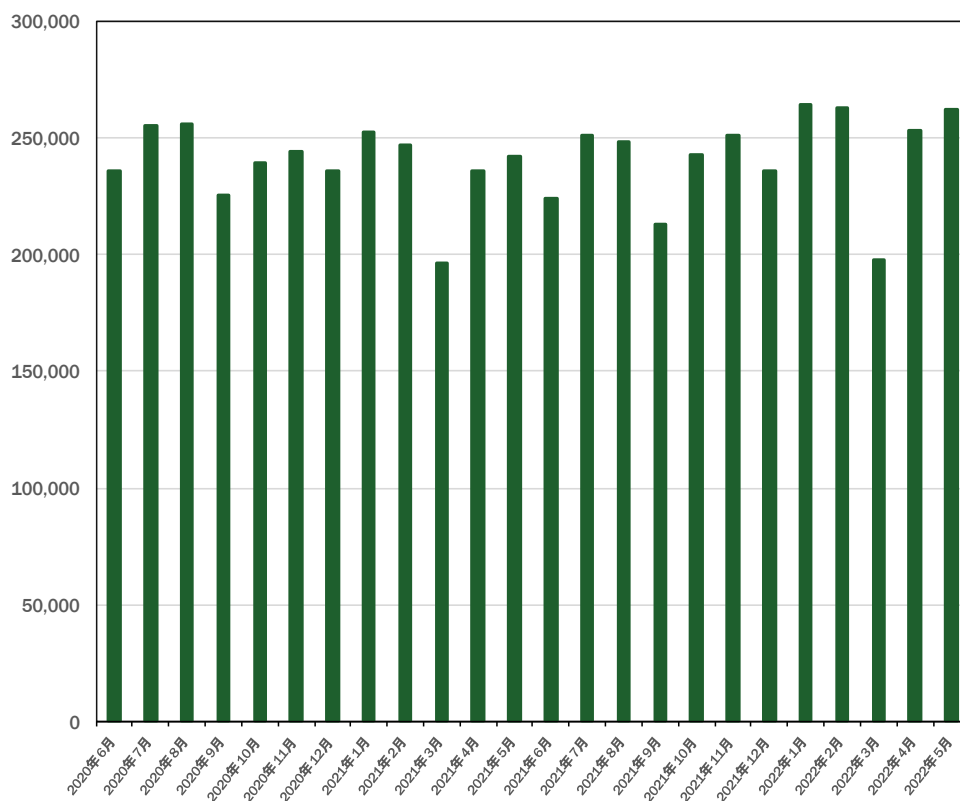
(単位：億円)

	発行企業名	5月末残高	4月末残高
1	NTTファイナンス株式会社	15,060	13,660
2	三井住友ファイナンス&リース株式会社	9,847	9,557
3	NTT・TCリース株式会社	7,760	7,660
4	コンチェルト・レシーバブルズ・コーポレーション	7,629	8,794
5	三菱HCキャピタル株式会社	6,705	6,580
6	ENEOSホールディングス株式会社	5,880	5,880
7	みずほリース株式会社	5,768	5,590
8	株式会社クレディセゾン	5,170	4,860
9	みずほ証券株式会社	4,905	4,905
10	出光興産株式会社	4,840	3,320

【短期社債市場残高】

(2020年6月～2022年5月)

(単位：億円)



本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会